

誰もが 意思表示する 社会へ

移植を受けることができる社会を目指して

p.2 臓器移植と臓器提供
コラム「脳死と心臓死2つの死」
「組織提供」
茨城県民の臓器移植に対する意識

p.3 茨城県の移植医療を支える体制づくり
・茨城県の現状
・腎臓移植を待っている患者に寄り添う医療機関より
コラム「いばらき腎臓財団とは」

p.4 平成27年度 賛助会員一覧
賛助会員・寄付金募集要項
平成27年度 寄付者一覧
いのちの学習会
慢性腎臓病・生活習慣病予防の出前講演
インフォメーション



誰もが意思表示する社会へ

～ 移植を受けることができる社会を目指して ～



※ドロー

日本で移植を待つている患者さんは、1万3千人以上ですが、臓器提供件数が少ないために年間3000人前後しか移植を受けることができないのが現状です。アメリカでは年に約2万件以上の移植が行われており、アジアでも多行われている病状があります。臓器提供件数を増やすためには、移植医療に関わる病院や社会の体制整備が必要です。ここでは、移植医療に関わる方々が日頃どんな思いで活動しているかを紹介します。

臓器移植と臓器提供

国立病院機構水戸医療センター 臓器移植外科
日本移植学会 副理事長 湯沢賢治

心不全、肝不全、腎不全など、命に関わる臓器が機能しなくなったら、生きていけません。この臓器の働きを機械的に替えるのが人工臓器ですが、人間の臓器ほど完全なものはありません。現在、完全な臓器の働きができるのは、人間の臓器しかありません。

人間が、ある病気で亡くなるたとき、完全な機能を保ったままの臓器が体に残されていることがあります。たとえば、脳が完全に機能しなくなった脳死状態ですが、この状態では殆どの臓器は機能しており、この状態で臓器が提供され、臓器が働かなくて死に至る人に移植することができれば、その人を助けることができます。

一般的に心臓が止まるとの死では、腎臓は何時間か大丈夫なのですが、おじいちゃんになられたから出来るだけ早くご提供の手術が必要です、他の臓器はその瞬間に機能しなくなりますが、移植には使えませんが、脳だけが機能しない脳死では、殆どの臓器は機能しており、移植に使え、人を助けることができます。1人の臓器の方が、平均5つの臓器が移植されています。つまり、1人の方が、死後に5人の方を救うことができるのです。脳死は、死ではありません、生きることはあります。もちろん、臓器の提供も一度考えてみてください。

心不全、肝不全、腎不全など、命に関わる臓器が機能しなくなったら、生きていけません。この臓器の働きを機械的に替えるのが人工臓器ですが、人間の臓器ほど完全なものはありません。現在、完全な臓器の働きができるのは、人間の臓器しかありません。

人間が、ある病気で亡くなるたとき、完全な機能を保ったままの臓器が体に残されていることがあります。たとえば、脳が完全に機能しなくなった脳死状態ですが、この状態では殆どの臓器は機能しており、この状態で臓器が提供され、臓器が働かなくて死に至る人に移植することができれば、その人を助けることができます。

一般的に心臓が止まるとの死では、腎臓は何時間か大丈夫なのですが、おじいちゃんになられたから出来るだけ早くご提供の手術が必要です、他の臓器はその瞬間に機能しなくなりますが、移植には使えませんが、脳だけが機能しない脳死では、殆どの臓器は機能しており、移植に使え、人を助けることができます。1人の臓器の方が、平均5つの臓器が移植されています。つまり、1人の方が、死後に5人の方を救うことができるのです。脳死は、死ではありません、生きることはあります。もちろん、臓器の提供も一度考えてみてください。

茨城県の移植医療を支える体制づくり

命をつなぐ移植医療を推進していくには、県民の皆様が臓器移植への理解を深めていただくための広報活動と、県内の医療現場における推進体制の拡充を、車の両輪のようにして進めていく必要があります。茨城県の臓器移植コーディネーターや院内臓器移植コーディネーターの方々、公益財団法人いばらき腎臓財団、茨城県アイバンクなど関係団体と行政がしっかりと連携し、協力して同じ方向に向かっていくことで、移植医療を支える体制を構築していけると思っています。

茨城県保健福祉部 薬務課 萩野谷昌代

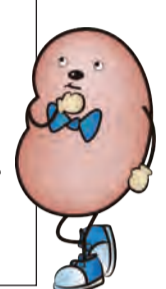
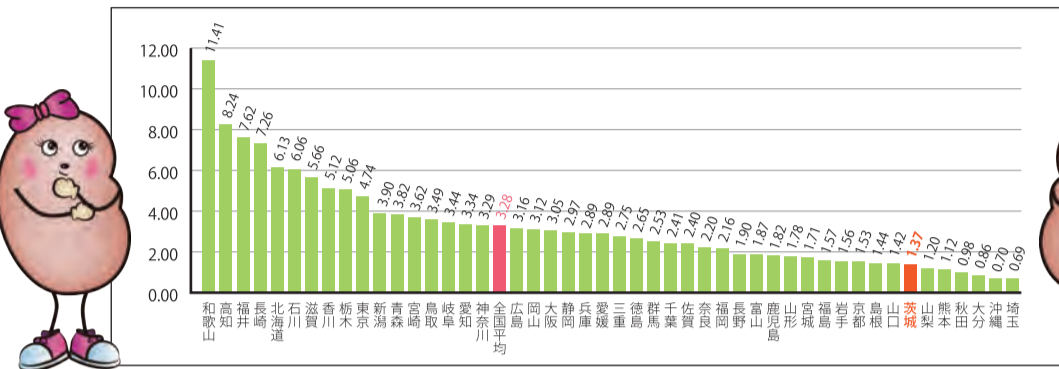


茨城県の現状

皆さん、下のマークはご存知でしょうか。これはグリーンリボンと云い、移植医療のシンボルマークです。今年の7月に水戸駅前で街頭アンケート調査を実施した結果、グリーンリボンの認知度は2%以下でした。是非、この機会に覚えてください。グリーンリボンの認知度は低いです。臓器提供について、平成25年度に内閣府が行った調査結果の12.6%と大きな差はありませんでした。しかし、茨城県の臓器提供件数は、全国的に平均にも満たない結果となっています。これらの結果から、患者さんやご家族の「臓器提供したい」という思いを叶えられない可能性があります。

臓器提供というのは、「提供したい意思」と「提供しない意思」の両方が尊重されます。茨城県では、臓器提供を希望されている方の思いをしっかりと把握し、叶えられるような取り組みをしています。

小川直子



腎臓移植を待っている患者に寄り添う医療機関より

献腎移植への期待

「献腎移植」との言葉を聞くと思わず「医療スタッフはどのようなのかな」という思いがあるのでしょうか。当クリニックでは患者さんが透析中感じている事を医療スタッフが全員が疑似透析体験を通じて少しでも透析患者さんの気持ちを感じることが出来るようになっています。献腎移植登録の大切さは医療スタッフ全員が十分理解していると思っています。

献腎移植登録更新時の患者さんの思いは「どうせ無理だから辞めようかな」「〇〇さんは登録が浅いのに移植できたのに、自分は何年も待っているのに全然まだ」などの本音が聞かれました。実際に諦めかけていた患者さんを励まし、登録の更新を継続した結果、すぐ腎移植が出来た患者さんもおられました。

移植候補の患者さんの不安は「本当に自分が移植して大丈夫

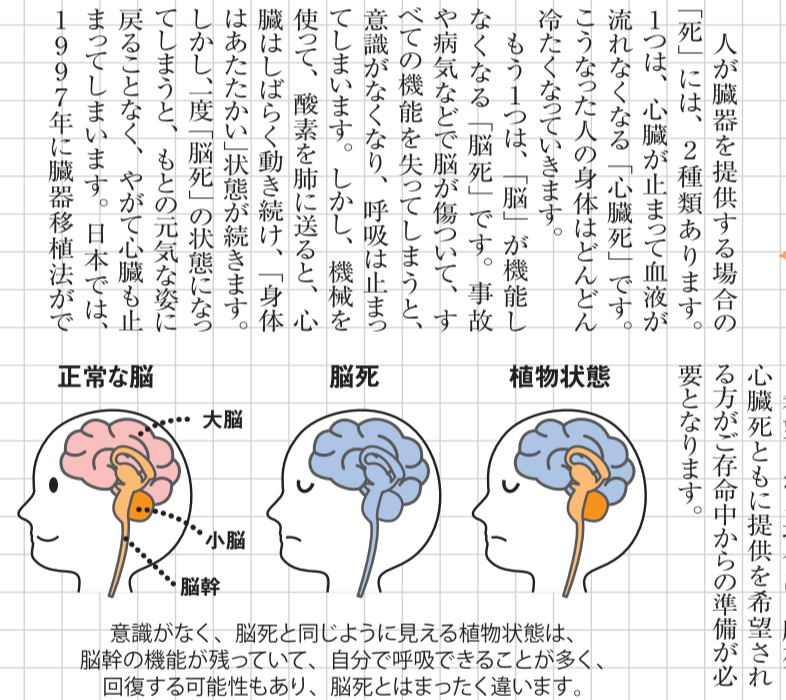
二人三脚、三人四脚、みんなつなぐ医療

献腎移植を受けるには、移植を希望する患者さんが日本臓器移植ネットワークに登録している必要があります。移植施設で登録業務を行っています。初回の説明時には、献腎移植について説明しお帰りをいただきます。そして平均14年7ヶ月の待機や、突然の移植、免疫抑制剤を飲むこと、自己管理の大切さについてご家族にもお話ししたうえで登録することを希望されています。

長い待機期の末の移植です。透析中の合併症を最小限とし移植への心構えを持つ移植に臨んでもらえるよう、献腎移植待機患者さんの勉強会や、年に1度の移植施設への受診を行っていただき、積極的な待機患者さんでい

水戸医療センター 認定レジデント移植コーディネーター 仲宮優子

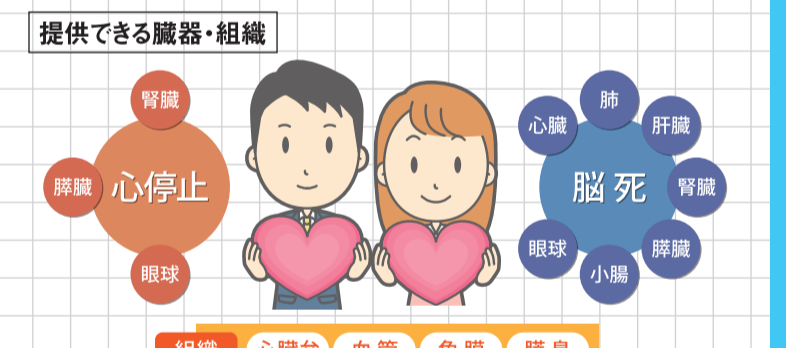
脳死と心臓死 2つの死



「死」には、2種類あります。1つは、心臓が止まって血液が流れなくなる「心臓死」です。こうなった人の身体はほとんど冷たくなっていきます。もう1つは、「脳」が機能しなくなる「脳死」です。事故や病気などで脳が傷ついて、すべての機能を失ってしまうと意識がなくなり、呼吸は止まってしまう。しかし、機械を使って、酸素を肺に送ると、心臓はしばらく動き続け、「身体はあたたかい」状態が続きます。しかし、「度」脳死の状態になつてしまつても、もとの元気を返すことなど、やがて心臓も止まってしまう。日本では1997年に臓器移植法が

組織提供

組織提供というのは、提供を希望されている方が心停止で死亡確認された後からでも提供可能です。今現在、茨城県で提供いただくことのできる組織は「心臓弁」、「血管」、「臍島」、「角膜」です。特に角膜というのは、150年以上も機能するため年齢制限がなく、癌を患っていても提供可能となります。



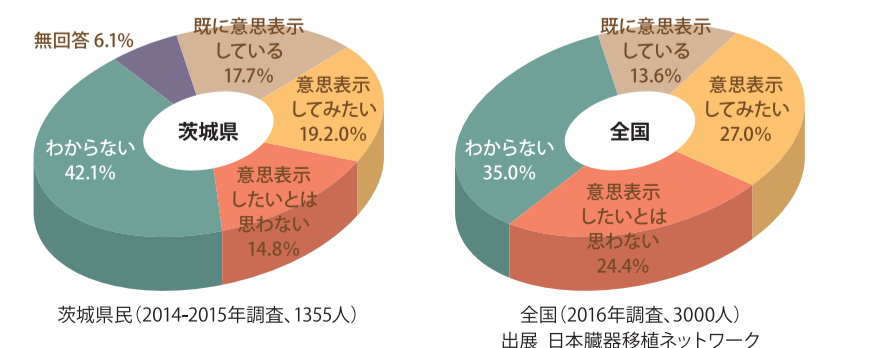
茨城県民の臓器移植に対する意識

県民へのアンケート結果

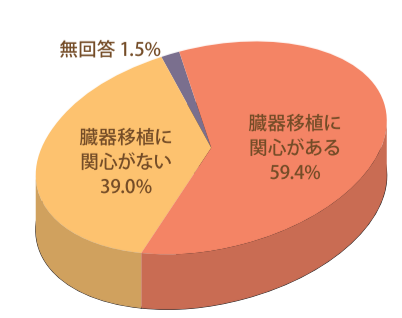
いばらき腎臓財団は、効果的な普及啓発活動に役立てる目的で、2014年から2015年にかけて、茨城県民の臓器移植に関する意識を調査しました。その結果、以下のことがわかりました。

1. 茨城県民の臓器提供意思表示率は、全国と比べてやや高い (グラフ1)
2. 20～40歳代で臓器提供や意思表示に積極的である
3. 一方で、4割の県民は臓器移植に関心がない (グラフ2)

グラフ1 茨城県民の臓器提供意思表示率は、全国と比べてやや高い



グラフ2 4割の県民は臓器移植に関心がない



つくしイベントへの出席

いばらき腎臓財団とは

公益財団法人いばらき腎臓財団は、茨城県民の死亡要因の8位に位置付く慢性腎臓病(CKD)対策、さらに腎臓移植の推進と普及啓発を主な柱として、県民の医療福祉向上を目的に平成元年12月に設立致しました。慢性腎臓病(CKD)からの血液透析患者数は年々著しく増加しており、さらに腎臓移植希望者数が増加することが予想されます。このことから茨城県のCKD予防、移植医療への理解を広げ、提供者を増やす活動を推進しています。

希望し、これよかつたか、この決断が本当によかつたのかどうかベッドサイドで静かに見つめ、対話をする家族と時間をともにしながら目の当たりに、どんな状況にありても医療には、本人・家族を支えることが必要であると強く感じました。私たち二人が、自分自身の生きえていく人生観と死に様を考慮し、どうしていくかを常に考えておくことが必要であり、それが人生の最期を病院で迎えないためにはならないと思っています。

「脳死下臓器提供」は、まだ体が暖かいます手術室と移動します。家族が「臓器提供」を判断し、覚悟して送り出すということは、「生き抜く思い」をうながしていくことではないかと思ひます。さまざまな思いの中、つながり大切にしていかなくてはならないと強く感じました。

「病院」は、人が病に陥ったときに訪れる場所であり、命を考へさせられる場所でもあります。病とともに生きるこの苦しさや、病を乗り越え、次のステップに進んでいくことへの不安な気持ち、治療を耐え抜いたことへの解放的な気持ちなど、いろいろな感情が混在している場所でもあります。そして、その当事者だけではなく、患者さんを取り巻く家族も同じように心が揺れ動いています。

日常、さまざまな状況にある病院の中で、当院では、県内で4例目となる脳死下臓器提供を2016年8月5日に実施いたしました。どんな状況でも、患者さん一人一人に対して最善の治療を行うことは当然です。しかし、医療の現場ではどんなに手を尽くしても救えない「いのち」もあります。人が人生の最期を迎えるときに、「いのち」を全うするのか、どう生き抜くのかを、それぞれが考えなければならぬと感じました。ご家族が臓器提供を

まだないくすりを創るしごと。

明日は変えられる。

astellas
Leading Light for Life
アステラス製薬
www.astellas.com/jp/

キッセイ薬品は、世界の人々の健康のため、さまざまな分野の新薬の研究・開発に、と組んでまいります。

KISSEI
キッセイ薬品工業株式会社

本社: 〒399-8710 長野県松本市青野19番48号
東京本社: 〒110-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号キッセイ日本橋ビル
〒112-0002 東京都中央区小石川3丁目1番3号キッセイ小石川ビル
URL: http://www.kissei.co.jp/

次世代をひらく 旭化成ファーマの医薬品

旭化成ファーマ株式会社

医薬情報部 <すり相談窓口>
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
☎ 0120-114-936(9:00~17:45:土日祝、休業日を除く)
URL: http://www.asahikasei-pharma.co.jp

広沢土地倉庫株式会社	常陽銀行 研究学園都市支店	東製薬工業株式会社	水戸協同病院
茨城県生活協同組合連合会	タイヘイ薬品株式会社	(独)国立病院機構水戸医療センター	渡辺内科
大曾根タクシー株式会社	日本ジェネリック株式会社	扶桑薬品工業株式会社茨城工場	医療法人書誠会 宮本病院
湯沢賢治	株式会社ホギメディカル	河上医院	医療法人五合会 常陸クリニック
永井秀雄	ゼリア新薬工業株式会社	総合病院土浦協同病院	青洲会 神立病院
鶴沢 力	深尾 立	株式会社日立製作所日立総合病院	株式会社アルファーム
茨城県病院薬剤師会	医療法人テーデーシー川井クリニック	医療法人真正会 水海道さくら病院	一般社団法人 茨城県医師会
医療法人社団健康会 守谷駅前クリニック	株式会社アルテック	生化学工業株式会社 高萩工場	筑波篤仁会 筑波学園病院
寺崎太郎(寺崎クリニック)	医療法人虹の会 にへいなかよしクリニック	医療法人貞心会 西山堂病院	株式会社ツムラ茨城工場
宮崎三弘(宮崎クリニック)	医療法人社団浦川会 勝田病院	ウエルシア薬局株式会社	キュービー株式会社 ファインケミカル五霞工場
川島房宣(川島医院)	医療法人社団双葉会 つくば双葉病院	東京医科大学茨城医療センター	なめがた地域総合病院
石川和明(石川クリニック)	東西総合病院	三井住友銀行つくば支店	医療法人 山口クリニック
小林敏郎(小林医院)	医療法人社団同仁会 常南医院	医療法人秀仁会 川島クリニック	公益社団法人 茨城県薬剤師会
石川悟(石川クリニック)	国立病院機構霞ヶ浦医療センター	十王ひがし野クリニック	大和ハウス工業株式会社
飯田章太郎(飯田医院)	龍ヶ崎済生会病院	関彰商事株式会社	医療法人社団プラスワン 緑野クリニック
松倉則夫(松倉中央クリニック)	医療法人博仁会 志村大宮病院	協和発酵キリン株式会社	医療法人倅仁会 つちだ内科・泌尿器科クリニック
山形文字(やまがた内科医院)	医療法人清仁会 上の原病院	株式会社カイノス笠間工場	古宿会水戸中央病院
	医療法人社団啓聖会 鳥越クリニック	テルモ株式会社	かもめ・大津港クリニック
	医療法人社団 桜水会	株式会社セントフォローカンパニー	県北医療センター高萩協同病院

平成27年度 賛助会員一覧

ご支援ありがとうございます。

公益社団法人 茨城県看護協会	医療法人青藍会 大場内科クリニック
公益財団法人 筑波メディカルセンター	つくばセントラル病院
水戸赤十字病院	医療法人 住吉クリニック
医療法人水清会 つくば学園クリニック	筑波大学附属病院
医療法人仁心会 渡辺クリニック	医療法人社団明厚会 大石内科クリニック
公益社団法人 茨城県医薬品配置協会	島田 忍(ウイング眼科)
水戸済生会総合病院	大河内信弘
前田病院	医療法人社団次野会 太田ネプロクリニック
JAとりで総合医療センター	医療法人茨城愛心会 古河病院
公益財団法人 茨城県総合健診協会	医療法人博友会 菊池内科クリニック
医療法人社団 興明会つくば腎クリニック	医療法人社団善仁会 小山記念病院
株式会社コヤマ薬局	医療法人社団とまき会 北茨城中央クリニック
医療法人健清会 那珂クリニック	株式会社筑波銀行
北茨城市民病院	茨城西南医療センター病院
株式会社トップ下妻工場	茨城県医療機器販売業協会

平成28年3月31日現在
(順不同・敬称略)

賛助会員・寄付金募集要項

当財団も茨城県知事から平成26年11月27日付で税額控除に係る証明書の交付を受け、税額控除対象法人になりました。これにより、当財団に対する個人・法人の寄附(賛助会費も同様)については、確定申告の際、上記「税額控除」と従来の「所得控除」のいずれか一方を選択ができるようになりました。また、ご要望いただきました賛助会員様の従業員を対象とした茨城県の臓器移植の現状、健康づくりのための講演会を優先的に無料にて実施させていただきます。

賛助会員	寄付金
【賛助会費 1口10,000円】	【寄付金額】
法人賛助会費 5口以上	金額は問いません、寄付してい
個人賛助会費 1口以上	ただける金額を申し込み用紙に
	ご記載下さい。

お申し込み方法

いばらき腎臓財団ホームページより「賛助会員・寄付金 申込書」をプリントしていただき、事務局宛へ、FAXもしくは郵送にてお送り下さい。

<http://www.iba-jinzou.com/sanjo/>

銀行振込先
銀行名：常陽銀行
支店名：研究学園都市支店
口座：普通 3451628
口座名義：公益財団法人いばらき腎臓財団
理事長 大河内 信弘

平成27年度 寄付者一覧

ご支援ありがとうございます。
平成28年3月31日現在(順不同・敬称略)

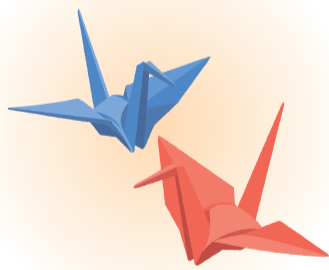
株式会社ヤクルト	茨城県行政薬師会	古徳 利光(小田内科クリニック)
医療法人社団 相川内科病院	公益社団法人茨城県歯科医師会	住谷 亮逸(住谷内科医院)
豊清会ときわクリニック	青柳 秀忠(あおやぎ医院)	清水 哲(清水医院)
旭化成ファーマ株式会社	医療法人石岡脳神経外科病院	飯田医院
茨城県医薬品卸業組合	茨城県腎臓病患者連絡協議会	島田 匡彦
日本薬品工業株式会社	小野薬品工業株式会社	医療法人社団そよこ会 長山皮膚科医院
アステラス製薬株式会社	小川 百合子(小川医院)	若林 治男
株式会社アルテック	医療法人薫光会小松整形外科医院	(一社)茨城県ビルメンテナンス協会
特定非営利活動法人日本移植支援協会	加藤 徹(菊山医院)	医療法人懇樹会 則武内科クリニック
つくばOAKライオンズクラブ	坪 正紀(医療法人権山診療所)	那珂記念MITOクリニック
友愛記念病院	宇津木 勝彦(宇津木眼科)	中外製薬株式会社
医療法人社団筑三会 筑波胃腸病院	医療法人 えびすクリニック	寺崎 太郎(寺崎クリニック)
ファイザー株式会社	角田 克博(つくばシティアピル皮膚科)	医療法人 皆川整形外科医院
マナクリニック	片岡 信彦	横瀬 利昭(横瀬医院)
医療法人あやほ会福島クリニック	(公社)茨城県食品衛生協会	神明橋歯科医院(岡山伸一)
公益社団法人茨城県獣医師会	神栖済生会病院	石渡 東海(石渡眼科)

お問い合わせ、ご質問等ございましたら、お気軽に事務局までお申し出ください。 **お問い合わせ先** 公益財団法人いばらき腎臓財団 infoiba@iba-jinzou.com

I.K.F Information

県内4例目、脳死下での臓器提供が筑波大で行われました

平成28年8月5日、筑波大学附属病院にて、脳死下での臓器提供がありました。提供された臓器は、「心臓、肺、腎臓」で「心臓」は飛行機で大阪へ、「肺」は新幹線で京都へ、「腎臓」は県内の2名に移植されました。ご提供者のご冥福をお祈り申し上げます。また、臓器提供の決断をなされたご家族の方々には、謹んでお悔やみ申し上げます。



メッセージ

いばらき腎臓財団理事長 筑波大学消化器外科・移植外科 教授 **大河内信弘**

臓器を提供するかしないかの最終判断は、死にゆく本人ではなく、残される家族にゆだねられるというのが日本の制度です。本人に提供の意思があっても、家族が反対すると臓器提供は行われません。逆に本人の意思表示がない場合でも家族の同意で臓器提供ができます。このように、本人の死後の重い決断を家族が行うため、家族の心の負担が大きくなってしまいます。しかし、本人が意思表示している場合には、家族の心の負担が軽減されることがわかっています。もしも、自分の家族が脳死状態に陥った場合、臓器提供については「本人の意思を尊重したい」、と考える人が多数を占めるのです。ですから、意思表示は自分の中にとどめておくだけでなく、自分がどう考えているか家族と共有しておくことが大切なのです。



いのちや人権について考える出前授業

読売新聞や常陽新聞に掲載されました！



いばらき腎臓財団では、小中学校や高校に出向いて、出前で「いのちの学習会」を行っています。「いのちの学習会」は、いのちや人権について考えてもらい、自他の生命を尊重する心を育むことを目的としています。また、学習指導要綱に位置づく道徳における命の教育に寄与しました。毎日遊んだりするのは、あたりまえだと思っていたけど、考えてみるとすごいことだなと思いました。「初めて「臓器移植」や「臓器提供」について知り、とても興味を持ったので家族ともしっかり話して合っていました。」等の感想を得ています。開催する学校では、道徳の授業や参観日に合わせて実施したり、学校行事として開催したりしています。

●いのちの学習会のお問合せ、お申込みはコチラ
infoiba@iba-jinzou.com

慢性腎臓病予防の講演会を開催しませんか？

新たな国民病と言われる、慢性腎臓病に関する講演会を開催しませんか？20名の参加者と講演場所をご用意いただければ、財団スタッフや医師が講師としてお伺いします(講演料無料)。

慢性腎臓病を予防する方法や生活習慣病にならないための運動・栄養に関する情報、慢性腎臓病の病態等をわかりやすくお伝えします。健康を維持するための知識を身に付け、普段の生活に役立ててください。

平成27・28年度の開催実績

- 1 株式会社ツムラ茨城工場
- 2 鯨井会計下妻事務所
- 3 (株)イセア
- 4 つくば市食生活改善委員会(4地区保健センター)
- 5 パナホームセキショウ(株)トップ下妻工場
- 6 アクサ生命保険(株)
- 7 つくば市健康増進課連携事業
- 8 下妻市保健センター
- 9 茨城県後期高齢者医療広域連合
- 10



皆様からの支援金を、このような活動に充当し県民の皆様へ支援されるよう日々邁進しています。